

グレード判定機能とは

品質検査業務において、同じ製品でも出荷先によって、品質規格(グレード)を細かく分類・管理しているケースがあります。LabDAMS®のグレード判定機能は、取引先ごとに異なる品質規格(グレード)を検査結果から自動判定し、外部検査成績書へ反映させることが可能です。

導入前(課題)

検査担当者が、品質規格(グレード)を手動計算し、手動で検査成績書に記録しており、ヒューマンエラーの原因となっている。

導入後(解決)

LabDAMS®が品質規格を自動計算し、グレードを自動判定・記録する。グレード判定結果に従い、どこの顧客に出荷すればよいか、Webブラウザで確認することができる。

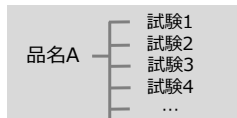
メリット

- ①作業効率の向上
- ②作業ミス防止
- ③データ改ざん防止

品質試験実施

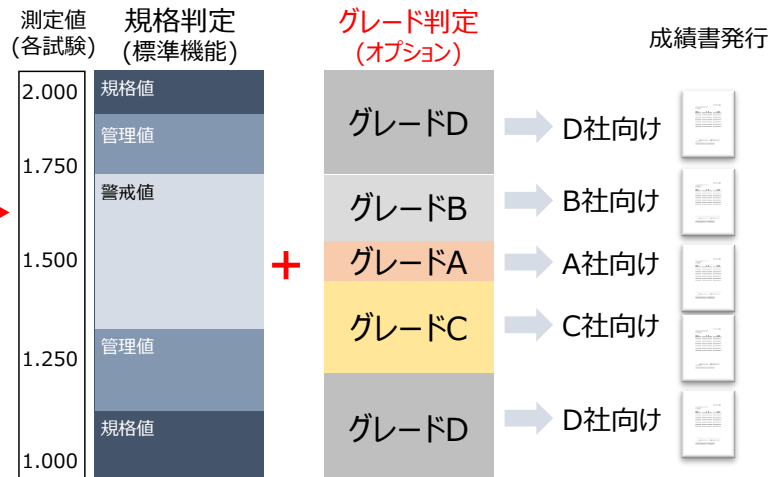


品名A



各試験の結果を登録する

試験結果判定



成績書発行

出荷先ごとの品質規格(グレード)を検査結果から自動判定し、外部検査成績書に記録します。(1指図に10グレードまで登録可能)

LabDAMS は、日本国内における日立ハイテクソリューションズの登録商標です。

【本資料に関するお問合せ】

◎株式会社 日立ハイテクソリューションズ
 OTソリューション統括本部 マーケティンググループ
 電話 03-3504-3155(代)

E-mail hsl-ot.dg@hitachi-hightech.com

ご相談・ご質問など
 お気軽にお問い合わせください。

<https://www.hitachi-hightech.com/hsl/products/instruments/lims/labdams/>

